

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年 11月 14日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	日本ポート産業株式会社
所在地	神戸市東灘区魚崎浜町16番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 岡田 貢
担当者連絡先	電話：078-452-7551 (担当：物流部 岡本)
	メール：y.okamoto@kobe-jpi.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.kobe-jpi.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は、1973年に創業し冷凍冷蔵倉庫業を柱とし阪神港を中心に物流を支えています。また、スローガンに「世界の食材を、確かな冷凍冷蔵保管技術で」を掲げており、お預かりしている多くの貨物が輸入品となっております。本邦到着後に協力会社へ依頼しコンテナヤードからのコンテナ引取・輸送、デバンニング作業を行っており、輸出入業務、通関許可後の配送業務等も行っております。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	自家消費型太陽光発電の導入によるCO2排出の抑制。	住吉倉庫2020年導入(年間CO2削減206t)、新魚崎倉庫2023年1月導入(年間CO2削減236t予定)。
□環境 ✓社会 □経済	ペットボトル蓋とプルタブの回収活動。 寄付をする事によりワクチンや車いすに換わり世界中の必要な方々へ届ける。	ペットボトル蓋=年間1回以上[世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)]に寄付。 プルタブ=年間1回以上の寄付を継続する。
□環境 □社会 ✓経済	定期的な地域清掃実施。 全従業員参加の清掃活動。	毎朝の清掃以外に月一度会社周辺の清掃を実施(全社員年間3回以上の参加)。また、三工会(地域)主催のクリーン作戦に参加(年3回)を継続する。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	1)雇用・教育・昇進・福利厚生等、雇用条件に差別がない体制を整えている。 2)ハラスメント相談窓口の設置(管理部)。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	1)ハラスメント相談窓口の設置(管理部)。 2)ハラスメント防止ポスターの掲示。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	1)勤怠管理システムを導入し時間外労働を把握。 2)安全衛生委員会にて各部署の時間外状況を報告(月1回)。 3)時差出勤の活用。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外国人労働者に対しても教育訓練を実施している(月1回)。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	1)安全パトロールの実施(月1回)。 2)コンプライアンス委員会のヒヤリハットの回覧(月1回)。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ストレスチェックを実施(年1回)。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	上記項目1.【差別の禁止】と同様に採用時も差別なく多様な人材を採用し活躍できる環境整備に取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	1)冷蔵倉庫協会等の研修会へ積極的に参加。 2)AEOの教育手順書に則り教育・訓練を実施。 3)コンプライアンス教育・テストの実施(月1回)。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	1)健康診断の実施(年1回)。 2)健康経営優良法人取得の為、健康宣言実施。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	1)廃棄物の分別(リサイクル対策)。 2)昼食時のマイ箸・スプーンの使用。 3)マニフェスト伝票管理。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	1)クールビズ・ウォームビズを実施。 2)昼休みの消灯を実施。 3)順次LED照明に切り替え(魚崎倉庫)。 4)すべてLED照明(住吉倉庫)。							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	2020年に住吉倉庫に自家消費型太陽光発電を導入、2023年1月に新魚崎倉庫にも導入し排出量の削減を進めている。							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	1)環境にやさしい高効率自然冷媒設備機器の導入。 2)PCB含有製品の使用及び保管なし。 (2021年9月に専門業者にて処分済)			3.9			6.3				11.6	12.4						

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 神戸市東灘区魚崎浜町 16 番地

名称： 日本ポート産業株式会社

代表者： 代表取締役社長 岡田 貢

登録年月日： 2022 年 12 月 23 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	ペットボトル蓋とプルタブの回収活動。寄付をする事によりワクチンや車いすに換わり世界中に必要な方々へ届ける。	ペットボトル蓋＝年間 1 回以上[世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)]に寄付。 プルタブ＝年間 1 回以上の寄付を継続する。	2023. 11 月にペットボトル蓋 9, 675 個を JCV に寄付。 プルタブは年度末(2024. 2 月)に環公害防止連絡協議会へ寄付予定。
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	定期的な地域清掃実施。 全従業員参加の清掃活動。	毎朝の清掃以外に月一度会社周辺の清掃を実施(全社員年間 3 回以上の参加)。また、三工会(地域)主催のクリーン作戦に参加(年 3 回)を継続する。	会社周辺清掃の全社員年間 3 回以上の参加、及びクリーン作戦の参加(3 回)を達成。年間の担当者スケジュール表を作成し参加状況・活動画像を社内 PC にて共有している。
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	自家消費型太陽光発電の導入による CO ₂ 排出の抑制。	住吉倉庫 2020 年 9 月導入(年間 CO ₂ 削減 206t)、新魚崎倉庫 2023 年 1 月導入(年間 CO ₂ 削減 236t 予定)。	太陽光発電による CO ₂ 削減実績 住吉倉庫：2023 年：539t 新魚崎倉庫：2023 年：571t (太陽光発電監視 PC のデータによる)

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 神戸市東灘区魚崎浜町16番地
名称： 日本ポート産業株式会社
代表者： 代表取締役社長 岡田 貢
登録年月日： 2022年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 □経済	ペットボトル蓋とプルタブの回収活動。寄付をする事によりワクチンや車いすに換わり世界中の必要な方々へ届ける。	ペットボトル蓋=年間1回以上[世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)]に寄付。 プルタブ=年間1回以上の寄付を継続する。	2024年11月にペットボトル蓋6,880個をJCVに寄付。 プルタブは2024年2月に2.2Kgを環公害防止連絡協議会に寄付。
□環境 □社会 ✓経済	定期的な地域清掃実施。 全従業員参加の清掃活動。	毎朝の清掃以外に月一度会社周辺の清掃を実施(全社員年間3回以上の参加)。また、三工会(地域)主催のクリーン作戦に参加(年3回)を継続する。	会社周辺清掃の全社員年間3回以上の参加、及びクリーン作戦の参加(3回)を達成。年間の担当者スケジュール表を作成し参加状況・活動画像を社内PCにて共有している。
✓環境 □社会 □経済	自家消費型太陽光発電の導入によるCO ₂ 排出の抑制。	住吉倉庫2020年9月導入(年間CO ₂ 削減206t)、新魚崎倉庫2023年1月導入(年間CO ₂ 削減236t予定)。	太陽光発電によるCO ₂ 削減実績 住吉倉庫：2024年：553t 魚崎倉庫：2024年：475t (太陽光発電監視PCのデータによる)